デジタル社会における「デジタル・デトックス」を実現する 工芸・工学の連携研究

名前:力石 武信(ちからいし たけのぶ)

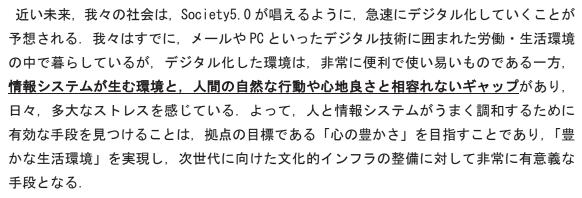
所属:東京藝術大学

専門分野:ロボットアート、HRI.アンドロイド

自己紹介:ロボットアート、人間とロボットの相互作用に興味があります。近年は、舞台や映画だけでなく、アート指向のロボット作成や、ロボットアートを用いた社会課題へのアプローチに力を入れています。

連携希望:どんな研究でも、独自の「世界観」があると思いま

す。その世界観を提示することは、そのままアートとしての「気づき」になると思います ので、自分達の研究を開かれた場にしたい方は、ぜひお声かけ下さい。



現在、我々は AI やロボットなどの新しいデジタル技術により、**歴史上初めて「主体的な世界を持たずに、主体的に振る舞うシステム」あるいは「人間の内的体験について、深く洞察されていない自律システム」との付き合いを始めた**ばかりであり、その付き合い方についての課題に取り組むことが急務である。

そこで、我々は、科学技術に加えて人間の主観的世界・内的体験を扱ってきた芸術の手法を用いることにより、デジタル技術が人間にストレスを与える要素を見直し、幸福を増やす手法を実現することができると考える。これを体内の有害物の排出を促し、健康を目指す民間療法である「デトックス」と同様に、芸術による「デジタル・デトックス」ととらえ、デジタル技術と人間の調和の実現を目指す。

1) 力石武信「芸術とロボティクス」日本ヴァーチャルリアリティ学会誌 特集 心と VRーポジティブコンピューティングー

23 巻 1 号 pp. 35-38, 2018.4